

## 部活動と地域クラブ活動について

教育部 学校教育課【きぼう】

### 1 令和 6 年度活動する 17 地域クラブ

#### (1) 学校部活動から移行し、令和6年度活動する地域クラブ(5)

- ・剣道焼津館 23名
- ・やいづ卓球クラブ 66名
- ・焼津AC(陸上競技) 29名
- ・焼津ジュニアテニスクラブ 52名
- ・焼津バレーボールクラブ(男子) 一名

#### (2) 焼津市独自に立ち上げ、令和 6 年度活動する地域クラブ(12)

- ・やいづ相撲クラブ 4名
- ・レクスポ焼津 7名
- ・やいづ海洋クラブ 20名
- ・静岡ジュニアレスリング 8名
- ・焼津 e スポーツクラブ 10名
- ・焼津水夢クラブ 9名
- ・焼津高校Saltar(トランポリン) 一名
- ・やいづ柔道倶楽部 一名
- ・焼津クラシックバレエ 一名
- ・書学クラブ 一名
- ・やいづよさこい倶楽部 一名
- ・焼津フラダンスクラブMaile 一名

※人数の表示がないクラブについては、今後、報告がある

※地域クラブ指導者 71 名の中に、現職教員 15 名、退職教員 9 名が含まれている

### 2 本年度推進委員会を開催し、令和 7 年度から地域クラブ移行を目指す 5 種目

#### (1) 令和 7 年度地域クラブ開設をめざして、本年度、合同部活動を行う種目(4)

- ・野球
- ・サッカー
- ・女子バレーボール
- ・バスケットボール

#### (2) 令和 7 年度地域クラブ開設を目指し、準備を進める種目(1)

- ・吹奏楽

※令和 7 年度中に、休日に行われている学校部活動については、すべて地域クラブへの移行を完了する予定である。今後、平日の部活動についても、地域クラブへの移行を進めていく。現在、そのスケジュールを検討している。

### 3 部活動の地域クラブ移行に関する課題

- ・現在、焼津市では会費(定額:クラブにより定められた額)と消耗品・備品の購入に要する経費に対する市補助金で運営をしているが、保護者の負担を軽減し、円滑な地域クラブ活動への移行と持続可能な地域クラブ運営を支援するため、学校施設以外の公共施設利用に係る施設利用料等への補助対象経費の拡大のほか、今後は家計所得による機会格差が心配されるため、就学援助のような仕組みの検討も必要である。
- ・活動場所や活動場所までの移動手段的確保の難しさがある。
- 学校施設や公営施設の活用、市の自主運行バス等の活用が考えられる。
- 焼津市では、毎月、学校教育課で学校施設利用の調整を行っている。また、地域クラブ活

動への移行の進捗に伴い、学校施設以外の公共施設利用も進んでいることから、施設の利用調整(地域クラブ間や一般利用者との調整も含む。)の仕組みを確立する。(優先予約が継続できるかどうかの検討も必要。)

- ・コーチを希望する教員は、兼職兼業を提出し、コーチとして指導を行っているが、平日の学校終業前に活動が始まるクラブでの指導にその時刻から従事することは不可能である。
- ・現在、地域クラブも「焼津市学校部活動ガイドライン」に則って活動しているが、各地域クラブが活動しやすいよう新たなガイドラインの作成が望まれる。
- ・中体連等の大会規則(出場要件等)の見直しが必要である。  
→地域の民間クラブなども出場できるよう参加資格が拡大されるとよい。

#### 4 地域クラブ活動在り方検討委員会 令和 6 年度の課題解決に向けての取組

##### (1) 地域クラブ活動ガイドラインの作成

- ・「文科省の学校部活動及び新たな地域クラブ活動の総合的なガイドライン」、「焼津市学校部活動ガイドライン」、「焼津市地域クラブ活動申し合わせ事項」をもとに検討を進める。

##### (2) 平日の地域クラブ活動の推進を含め、今後のスケジュールの作成

- ・平日の学校部活動の地域クラブ移行へのロードマップを作成し、ガイドラインと合わせ、今後の地域クラブの方向性を明らかにする。

##### (3) 平日の地域クラブの活動実施を見据えた協力体制の構築

- ・関係機関の担当者を在り方検討委員会メンバーに加え、体制を強化する。

##### (4) 学生ボランティアの可能性について

- ・各種目での活動支援ボランティアとして関係機関への協力を依頼する。